東興ジオテック
Taka Matsu Group

会社概要

会社名	東興ジオテック株式会社
本社所在地	東京都中央区銀座7-12-7
設立	1956年3月19日
代表者	代表取締役社長 吉井 睦雄
資本金	8,000万円
主な事業内容	自然回復緑化、斜面緑化、斜面保護、地盤改良、土壌汚染対策、爆砕、保温保冷耐火、構造物補修などの設計施工及び耐火物製造販売

東興ジオテック株式会社オフィシャルサイト
https://www.toko-geo.co.jp

東興ジオテック株式会社【公式】
YouTube

FSC
ミックス
紙
FSC® C114747

Life for

安心して暮らせる日常を守る



東興ジオテック
Taka Matsu Group

環境にやさしく
品質に厳しく

私たちは、あなたとあなたの大切な人、そして私たちの暮らしを支えるために、
自然環境との調和を図りながら豊かな社会の実現を目指します。

Life for

Safety　高い専門性と技術力

私たちは、防災・災害復旧・インフラ整備のプロフェッショナルとして、人々の暮らしを支えています。
高度な技術を駆使し、災害に強い社会を築く。それが東興ジオテックの使命です。

Me　スペシャリストを目指す

その道のプロフェッショナルとして、専門性の高い技術を学び磨き続ける環境があります。
あなたも、「暮らしを支えるスペシャリスト」として成長し、未来の社会を支える力になりませんか？

Happiness　安定した経営基盤

高松グループの一員として、長年の実績と信頼を基盤に安定した経営を続けています。
働きやすい職場環境が、社員一人ひとりの成長を支え、次世代の暮らしを守る原動力となっています。

高松グループとは

持株会社である「高松コンストラクショングループ」を中心とした建設業の専門企業集団です。
グループ共通の理念として、「浮利を追わないこと」「お客様を幸せにすること」「誠実に対応すること」を掲げています。
グループ各社の歴史や企業文化、価値観を尊重しながら、社会から高い信頼を得られる企業集団を目指しています。

もしも if story 東興ジオテックがなかったら



設備損傷

補強後



災害時の二次被害を防ぐ

エネルギーインフラ施設の設備損傷は、停電や交通の遮断、水道・ガス供給の中断、通信障害などを引き起こし、住民生活や経済活動に深刻な影響を与えます。特に災害時には、エネルギーインフラの機能停止が被害を拡大させるリスクを秘めています。平時からの適切な保守メンテナンスが、予期しない故障を防ぎ、災害時の迅速な対応を可能にし、エネルギーインフラの長期的な安定性を保つ鍵となります。



土砂災害

補強後



雨降る前に、地固める

全国各地に存在するイエローゾーンやレッドゾーンと呼ばれる土砂災害警戒区域では、近年の大雨や台風の頻発により災害リスクが高まっています。東興ジオテックは、道路や住宅の周りを囲む人工的な斜面である「のり面」の保護・安定化を図り、土砂災害の要因になりうる「雨の脅威」から、人々の命、生活、そして財産を守っています。



地盤沈下

補強作業



今後30年以内に70%以上の確率で発生する

地震大国・日本では、そのような巨大地震の予測をたびたび耳にします。明日、その地震が発生する可能性も否定はできません。東興ジオテックは、いつ起きるかわからない巨大地震に備え、道路や空港などのインフラ基盤の地盤改良工事を通じて、液状化現象を未然に防いでいます。



橋の崩壊

補強後



1950～1970年代の高度経済成長期に整備された全国各地のインフラが一斉に老朽化を迎えています。

“インフラの高齢化社会”とも言える中で様々な自然災害とも対峙し続けなければならない我が国に、「壊れない橋」などありません。東興ジオテックは、長年の歴史・研鑽で培ってきたインフラメンテナンス技術を通じて、全国の橋梁を補強・補修し、次の50年も橋と暮らしを守り続けていきます。

美しい街を 美しいままで

私たちの住む日本は、土砂災害が起きやすく、
地震による建物や橋の損傷・倒壊のリスクとも常に隣り合わせです。
東興ジオテックが目指すのは、これらのリスクを低減し、自然災害に強い街をつくること。

東興ジオテックの 事業

enterprise

法面（のりめん）事業

自然災害から人々の生活を守る
緑豊かな自然環境を守る

「のり面」とは、道路建設や土地造成に伴い人工的に作られる傾斜面を指します。
当社では、斜面崩壊を防ぐために法面を保護し安定性を確保することで、自然災害から人々の生活を守っています。また、防災対策だけでなく、崩壊した斜面を元の姿に戻す「自然回復緑化」にも力を入れています。さらに、国内産在来種子を専用に貯蔵・製品化する施設「RSセンター」を活用し、地域の生態系に配慮した緑化工事を実現しています。



施工フィールド

高速道路 / 急斜面 / 住宅街 / 災害場所

《施工事例》

斜面保護（愛知県）



自然回復緑化（施工前）



自然回復緑化（施工後）



RSセンター



地中事業

自然災害から人々の生活を守る
安定した社会インフラを守る

地中事業では、「地盤を強固に整える工事」をおこない、自然災害や液状化現象から社会基盤を守ります。この工事は、高速道路や鉄道、地下鉄、港湾、空港といった日本の交通・物流の大動脈で実施され、広いスケールで社会インフラを支える役割を果たしています。成果が目に見えづらい仕事ですが、安定した土台を築くことで、私たちの社会を支える重要な仕事です。



施工フィールド

空港の滑走路 / 河川 / 鉄道 / プラント敷地内

《施工事例》

川沿い（東京都）



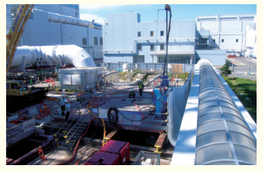
港（兵庫県）



街中（神奈川県）



プラント内（新潟県）



リニューアル事業

安定した社会インフラを守る
「持続可能な社会環境」のために

高度経済成長期において、日本全国で交通網の整備が進み、道路、トンネル、橋梁などのインフラが次々と建設されました。しかし、それらの多くは建造から長い年月が経過し、交通量の増加とともに耐久性が低下してきています。そこでリニューアル事業では、これらの構造物が本来の性能を維持し続けるために「補修・補強・耐震・メンテナンス工事」を実施し、人々が安全で安心した生活できる環境を支えています。



施工フィールド

橋 / トンネル / その他建造物

《施工事例》

耐震補強（広島県）



耐震補強（岡山県）



電気防食工法



ICTへの取り組み



プラント事業

安定したエネルギーインフラのために
環境に配慮した生産機能の維持向上

プラント事業では、発電所や鉄鋼製品などを生産するプラント施設において、設備工事や改修・補修工事をおこない、エネルギー生産効率の向上に貢献しています。また、耐火製品を自社工場で研究・開発・製造する体制を持ち、現場に適した耐火材を調査から供給、施工まで一貫して提供可能です。これにより、稼働率を高めつつ、環境への影響を抑える持続可能なプラント運営を支えています。



施工フィールド

各発電所 / 各プラント設備 / 溶解炉 / 焼却設備 / その他設備施設

《施工・業務紹介》

タンク保温工事（富山県）



耐火工事（愛媛県）



耐火材製造工場



耐火材の品質検査



施工管理って どんな仕事？

施工管理は
現場の要（かなめ）

施工管理とは

施工管理は、多くの関係者と連携し、事故を防止しつつ、工事の計画や進捗を管理し、安全確保と品質管理を徹底する仕事です。工事を円滑に進め、建設工事を成功に導くため、現場全体を統括する非常に重要な役割を担っています。



多くの関係者が関わるため、
円滑な進行と品質の確保には
コミュニケーションが欠かせません。

施工管理の5つの管理

施工管理の「5大管理」は、建設工事を安全・効率的に進めるための基本です。

品質管理
使用する材料や構造物が仕様書や基準を満たしているか確認・管理すること

安全管理
作業従事者や第三者の安全を確保し、事故を防ぎながら作業を進めること

工程管理
設計図書や仕様書どおりに施工が進むように計画・確認・調整・記録すること

原価管理
人件費や資材費を計算し、無駄を省きながら予算内で工事を進めること

環境管理
工事が周辺環境へ与える影響を最小限に抑え、環境保護に配慮するよう管理すること

FLOW 工事の流れ

工事受注 → 打ち合わせ → 周辺住民ご挨拶 → 施工計画 → 現場の事前準備 → 現場運営 → 施工完了 → 竣工検査 → 引渡し



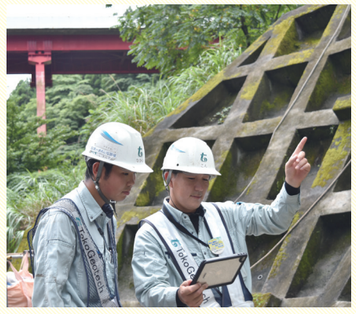
工事を受注するためには、自社の技術力やこれまでの実績をしっかり示すことが大切です。また、迅速かつ誠実な対応を心がけることで、信頼を築き、長期的なパートナーシップの基盤を作ります。



「事前準備が8割」とも言われるほど、計画段階が重要です。工事がスムーズに進むよう、綿密な計画を立て、必要な資材や人員を手配して、万全の状態で工事を始められるようにします。



現場では多くの協力会社と連携しながら作業を進めます。お互いに信頼関係を築き、円滑なコミュニケーションを図ることで、チームとして一丸となり、より良い工事を目指します。



工事現場では、天候や地盤などの自然要因によるアクシデントが避けられません。冷静に状況を判断し、柔軟に対応することで、困難を乗り越えていくことが、施工管理の仕事のおもしろさであり、腕の見せどころです。



現場での安全確保は最優先事項です。作業者全員が安心して働ける環境を作るため、安全ルールの徹底や事故防止の取り組みを実施します。「安全第一」の意識が信頼される施工管理につながります。



工事が無事に完了した後は、厳しい竣工検査を経て品質と安全性を確認し、完成したものを引渡します。丁寧な説明や対応を心がけ、お客様との信頼関係をさらに深めることを大事にしています。

社員に聞く 東興ジオテック

interview



さとう　やすあき
佐藤 泰亮

2007年入社

施工管理　地中事業

いい仕事を丁寧に進めることを大切に。

仕事内容について

工事を受注した後は、施工開始までに施工計画書の作成、現場状況に適した機械の選定、トレーラーや大型トラックが安全に通行できる搬入ルートの調査、隣接する工事との工程調整などをおこないます。施工がスムーズに進むよう、準備を丁寧におこなうことを心がけています。

会社のいいところを

会社の業績が良いと社員へしっかり還元してくれるところです。やりがいを感じながら仕事に取り組むことができます。

仕事をする上で求められる姿勢や大切なことは？

構造物を建てる工事において、地盤改良工事は最初の工程になることがほとんどです。もし工事が遅れてしまうと後々の工程に大きな影響を与えてしまう可能性が高く、予定された期間内に完了させることが重要です。進捗状況を日々しっかり把握し、スムーズな現場運営を心がけています。この姿勢が当社だけでなく、建設工事全体の成功につながると信じています。

今後の目標について

いい仕事をすることで、更に仕事が舞い込んで会社に利益をもたらすと考えています。お客様からいい評価を得て、また東興ジオテックに仕事をお願いしたいと思われるようないい仕事を丁寧に続けていきたいです。

▼災害復旧としての地盤改良工事



message

求職者へメッセージ

特殊工事を手掛ける当社は「人と違う仕事がしたい」という方にぴったりです。外での仕事は天候や季節によって快適な時期もあれば大変な時期もありますが、体力仕事だけではありません。興味のある方はぜひ一緒に働きましょう。



かじわら　まい
梶原 舞

2022年入社

施工管理　地中事業

何度も先輩に教えてもらいながら成長しました！

仕事内容について

主に、夜勤施工に向けた機材準備、提出書類の作成やまとめ作業をおこなっています。また、小規模現場では、現場へ出て写真撮影や管理、予算の準備、資材の手配、関連業者への連絡業務もおこなっています。少しずつ仕事の流れを学びながら経験を積んでいるところです。

会社のいいところを

たくさんの現場を経験できる中で、各工種について知識豊富な先輩が丁寧に教えてくれるのが魅力です。一度だけではなく繰り返し経験できるので、新人にとってとても心強い環境です。

▼滑走路の夜勤施工に向けて



会社を選んだ理由や動機を教えてください

当社を知ったのは、大学で開催される説明会へ参加したことがきっかけです。それまで建設業界は分野が異なると思っていましたが、説明会の中で事業内容について興味を持ち、特に地盤改良工事では学んでいた化学の知識が役立つかもしれないと感じたことから入社を志望しました。

今後の目標について

まだ覚えきれていないことや不安なことは多くありますが、その中でも自分のできること、得意なことで貢献できているなと、やりがいを感じることが増えてきました。今後はもっと必要な場面でしっかりと貢献できる、人から信頼される存在になりたいです。自分の仕事を着実に進めながら、困難なときにはチームで支え合える環境を大切にし、さらに成長していきたいと思っています。

message

求職者へメッセージ

施工管理に対し、不安や心配、何をする仕事なのか分からないという気持ちがあるかもしれません。私も全く知識がない状態で入社しました。それでも多くの先輩に教えていただきながら成長しているので安心してください。



なかじま　そうた
中島 颯太

2024年入社

施工管理　法面事業

竣工した現場を見ると達成感が湧きました。

仕事内容について

現場では、品質管理のための写真撮影、材料の手配などをおこなっています。初めは分からないことばかりでしたが、少しずつ工事の仕組みを理解できるようになってきました。

仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？

先日、初めて配属された現場が無事に竣工しました。施工中は、初めてのことばかりで戸惑ったり、思うように進まず苦労することもありました。それでも、完成した現場を目の当たりにしたとき、「本当にやり遂げたんだ」という達成感が込み上げてきて、これが仕事のやりがいなんだと強く感じました。

仕事をする上で求められる姿勢や大切なことは？

研修や現場配属前に基本的な知識を学んだつもりでしたが、いざ初めて現場に配属されると、分からないことだらけで驚きました。でも、そんな状況でも先輩方は優しく丁寧に教えてくれたので、とても心強かったです。そこで、自分から積極的に質問したり、行動してみることの大切さを実感しました。分からないことをそのままにしないで、勇気を持って聞くことで、どんどん成長できる環境だと感じています。

今後の目標について

工程管理や原価管理といった現場運営に必要なスキルをしっかりと身につけていき、将来的には、自分1人で現場を任せてもらえるような存在になりたいと思っています。そのために、日々の業務を通じて経験を積み、一歩ずつ成長していきたいです。

▼初めて担当した法面



message

求職者へメッセージ

法面工事では斜面をロープで登ったり、山道を歩いたりと、思った以上に体を動かす機会が多い仕事です。大変なこともありますが、自然の中で働ける環境は魅力的で、自然が好きな方には楽しめる職場です！



たけもと　すぐる
竹本 優

2014年入社

施工管理　プラント事業

フランクで風通しの良い職場です。

仕事内容について

大型案件の見積作成や工事施工計画の作成を担当しています。1つの工事を最初から最後まで任されることが多く、見積作成から業者の選定、施工計画の立案、そして現場や原価管理、最後の報告書作成まで、一貫して携わっています。

仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？

早い段階から現場を任せてもらえるため、自分の成長を実感する機会が多いと思います。また、風通しの良い雰囲気があり、何事にも積極的に挑戦しやすい環境です。失敗と成功を重ねることで、自信を持って仕事に取り組めるようになりました。

会社のいいところ

プラント事業では「築炉工事」という珍しい分野の仕事に携われることです。専門性を身につければ、それが自分の大きな強みになります。また、社員同士が役職名ではなく「〜さん」と呼び合うことで、より一層フランクで風通しの良い雰囲気になりました。上下関係に縛られず、気軽に意見を交換できる環境は、働きやすさを感じるポイントの1つです。

今後の目標について

今後の目標は、プラント事業の施工管理社員をまとめ、チーム全体を引っ張っていく立場になることです。そのために、これからも経験を積み重ね、信頼されるリーダーを目指していきたいです。

▼築炉工事の様子



message

求職者へメッセージ

誰もがはじめは分からないことばかり。何事も分からないことがあれば、優しく丁寧に教えてくれる先輩ばかりなので安心してください！親しみやすい雰囲気の中で、チームとして一緒に成長していきましょう。

社員に聞く 東興ジオテック

interview



かたやま じゅんいち
片山 純一

2023年入社

営業　リニューアル事業

「東興ジオテックなら大丈夫」と、信頼されるために。

仕事内容について

「電気防食技術」にかかわる試験施工や社内試験、全国的な営業活動をおこなっています。具体的には、土木コンサルタントへの工法提案や設計をともなうスペックイン活動、協力企業との営業協力が主な業務です。海外メーカーからの資材輸入業務も担当しており、幅広い業務を通じて事業の発展に貢献しています。

会社のいいところ

当社の魅力は、1,000億円以上の市場規模があると言われるリニューアル事業に加え、電気防食を自社で施工できる唯一の企業である点です。この高い専門性と独自性は、大きな強みだと感じています。

仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？

過去に一緒に仕事をした方とお会いすることがあり、私のことを覚えていてくださったときは、本当に嬉しくなります。また、自分が設計した内容が採用され、実際に施工されたときには、大きな達成感を得られ、日々の仕事のモチベーションにつながっています。

今後の目標について

今後の目標は、全事業部の商材や工法を広める営業活動をおこないながら、次世代への事業継承を着実に進めていくことです。そして、「東興ジオテックに聞けば大丈夫」と全国的に信頼される企業へと成長させることを目指しています。そのために、日々の営業活動や若手育成を通じて、会社の未来を支える基盤を築いていきたいと思っています。

▼リニューアル施工事例



message

求職者へメッセージ

当社のリニューアル業界への参入は他社と比べて後発ですが、だからこそ他社にはできないことを次々と実現できる成長事業だと自負しています。一緒に挑戦し、成長していける環境で働くことは、きっと楽しいに違いありません！



すずき やや
鈴木 耶々

2021年入社

営業　法面事業　リニューアル事業

成果に対して評価してもらえる環境があります。

仕事内容について

営業部の仕事は、他社から下請けの工事を受注したり、国や県などの公共機関から元請として仕事を獲得したりすることです。営業が仕事を取らなければ工事部の仕事にも影響が出るため、プレッシャーを感じる場面もあります。具体的な業務としては、外回りの営業活動や他社との打ち合わせ、現地調査、積算、見積作成、入札業務、公共機関への申請など多岐にわたります。責任は大きいですが、その分やりがいのある仕事です。

仕事をする上で求められる姿勢や大切なことは？

営業部の一番のミッションは、仕事を取ってくることです。他社に見積を出す際は、金額なのか条件なのか、相手が何を求めているのかを考えながら作成します。工事部に引き継ぐまでは、相手先と密に連絡を取り合い、スピーディーな対応を心がけています。もちろん上司への報連相も欠かせません！

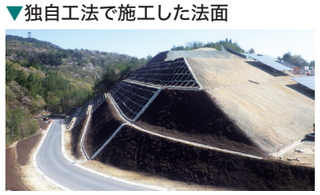
会社を選んだ理由や動機を教えてください

大学で農学を学び、緑化に興味がありました。国内産種子を使った樹林化工法やエコストライプ工法などの当社工法に魅力を感じたからです。

今後の目標について

3年目に2件の大型案件を元請で落札し、社長賞をいただいたことがとても印象に残っています。若手でも、成果に対してしっかりと評価していただける環境を実感し、大きな自信につながりました。早くひとり立ちし、「会社の大きな戦力」として活躍できるよう、さらなる成長と努力を続けています！

▼独自工法で施工した法面



message

求職者へメッセージ

自分にとって「普通のこと」や「当たり前のこと」でも、周りから見るとすごいことだったりします。自分の強みや得意なことを大切にできる場所で、どんどん挑戦してほしいと思います！自信を持って前に進んでください。応援しています！



わきた れいな
脇田 怜奈

2019年入社

技術開発　法面事業　地中事業

知識を深めるほど、強みや技術力を実感できる。

仕事内容について

工事現場で設計変更が発生した際に、技術支援や工法提案をおこなう仕事です。提案を進める際には「安全が確保されるのか」という視点で現地調査、安定計算を実施します。

会社のいいところ

社員同士の繋がりが強く、分け隔てなく意見を交わせる会社です。

仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？

大学で法面緑化を学んでいたことから、入社当初は「法面工事は全て緑化工法で良いのでは」と考えていました。しかし、施工管理として現場で様々な工法に関わり、技術部で幅広い技術を学ぶ中で、緑化工法は「生活の安全を守るための一つの手段」であり、その土地や状況に合わせた工法を提案することが大切だと考えるようになりました。さらに、知識を深めるほど、多様な手段を提供できることの強みや、専門技術を活かして対応できることの重要性を実感しています。それでも、法面緑化に関わる際は、自分の興味やこれまでの知識を活かせるので、特に楽しさを感じます。

今後の目標について

今後の目標は、より多くの技術を学び、ニーズに応じた最適な技術を提供できるよう成長することです。目の前の仕事に一つ一つ丁寧に取り組み、その経験を未来につなげていきたいと考えています。

▼現地調査



message

求職者へメッセージ

様々な不安から「現場で働いてみたい」という気持ちを諦めてしまうのは、もったいないと思います。今の「やりたい」という気持ちを大切にして、まずは一歩踏み出してチャレンジしてみてください！



なかもと りゅうたろう
中本 竜太郎

2013年入社

技術開発　法面事業　地中事業

「自分のアイデアを形にする」ために。

仕事内容について

新工法の開発では、アイデア出しからスタートし、実現可能性の検討、開発計画の立案や特許出願などのプラニングをおこないます。その後、共同先の選定や交渉を経て、実用性の検証試験、改良・改善を重ね、実用化へと進めていきます。当社の特徴は、大手企業のような分業制ではなく、一人ひとりがこの一連のプロセス全体に携わることです。

仕事をする上で求められる姿勢や大切なことは？

常に探求心を持ち、常識にとらわれず柔軟な視点を持つことです。また、アイデアを形にするスピード感も重要で、短い時間で最大限の成果を出す意識が求められます。さらに「現場を見る力」も重要で、設計に悩んでいた時、上司から「現場を見てこい」と言われた経験が印象に残っています。実際に現地を確認すると、資料の数値と状況が大きく異なり設計をやり直すことになりました。現場を正しく見ることで、実用化のイメージを掴むことができ、開発にも大いに役立っています。

今後の目標について

機械化や省力化が進む中で、基本的な施工方法は半世紀近く変わっていません。業界の常識を覆すような新しい技術で「ドラえもん」に出てくるような革新的なアイデアを実現し、現場がもっと効率的になり、より高い品質を提供できる未来を目指していきたいです。

▼設計を担当した法面



message

求職者へメッセージ

変化の激しい時代だからこそ、柔軟な発想と挑戦する心を持つ仲間を求めています。当社では、若手エンジニアが活躍できる環境が整っています。一緒に新しいアイデアを形にし、業界にインパクトを与える技術を生み出しましょう！

2015年入社同期

座談会 東興ジオテックだからできること cross talk



小澤 信彦（おざわ のぶひこ）

技術開発　法面事業（緑化工法）

今 新太（こん あらた）

施工管理　法面事業

山口 祐也（やまぐち ゆうや）

施工管理　地中事業

当社の仕事を誇りに

今：東興ジオテックに入社して10年か。小澤さんも以前は一緒に施工管理として働いていたよね。

小澤：そうだね。施工管理を経験して、今は国内の植物だけを使った緑化工法の開発を進めていて、これができるのは当社だけ。他にはない技術に携わることを誇りに思って仕事ができるんだ。

山口：当社は工事内容が専門的だよね。ほかの会社の人と話していると、「あの難しい工事も御社がやったんですよね」なんて言われることがあるし。今さんの法面工事も、僕らの地中工事も、当社ならではのやりがいが詰まった仕事だと思う。

今：僕もそう感じるよ。災害が起きてから、地面や崖が崩れないという成果が初めてわかる仕事だから責任は大きいけど、本当に重要な仕事だよね。だからこそ、ずっと続けているのかもしれないな。

心強い同期の存在

小澤：「続けている」といえば、1年目の頃を思い出すよ。慣れない工事部の仕事でうまくいかなくて挫けそうだったけど、そのときに「今さんも頑張ってるし、自分も踏ん張ろう」って思えたんだ。あのとき辞めずに続けられたのは、同期の存在が大きいと思う。

今：僕も小澤さんの現場を担当している職人さんから、「小澤さんに会いました？」なんて声をかけられることがあったよ。仕事を通してつながりを感じられるのは嬉しいよね。

山口：そうそう。ほとんどの同期は全国の支社に分かれてしまったけど、近くの現場にいるとやっぱり心強いよね。

小澤：僕も技術開発職として全国を回るようになってから、同期の現場に立ち寄ることがあるよ。久しぶりに話せるのは嬉しいし、励みになるなあ。

風通しの良さが魅力

今：現場では工事の完成という目標に向かってみんなで協力するから、同期だけじゃなくて他の社員、他社の関係者さんとも話しやすいよね。人に恵まれている職場だと思う。僕も施工管理者として、みんなが率直に話せる雰囲気を作ろうと心がけているんだ。

山口：そうだね。僕ら施工管理の仕事は、事故を起こさないように配慮するのが最優先だからこそ、コミュニケーションが大切だよね。でもせっかく一緒に仕事をするなら、みんな笑顔で働けるのが一番だと思うよ。真面目な話だけじゃなくて雑談もできるような関係性がいいな、まずは自分が笑顔でいることを心がけているよ。特に最近は土日休みも増えて、働きやすい環境になってきたね。

小澤：10年前とは働き方が大きく変わったなと実感することが多いよね。

自分の力を活かして働ける

今：この会社で特にいいなと思うのは、早い段階で自分の裁量で仕事ができるところかな。2年目に1人で現場を担当したこともあったし、3年目には完全に任されていたよ。これからも、もっと大きな現場に挑戦してみたいな。自然の中で四季を感じながら働けるのも、この仕事ならではの魅力だよね。

山口：僕も、自分らしく仕事を進められるところが気に入っているよ。実は、いつか営業の仕事もやってみたいと思っているんだ。

小澤：技術開発職は、自分の担当分野をとことん追求できるのが魅力だね。僕は高校生の頃から緑化に興味があったから、今こうしてその分野で働けていることに満足しているよ。専門的なことを追求できるのは、当社ならではの良さだと思う。

Life for

安心して暮らせる日常を守る